

### 最薄0.2ミリの軽量スマホケース

精密機械部品製造のSONEC（浜松市北区）が、二輪車や航空機の部品製造の技術を応用した、スマートフォン（多機能携帯電話）「iPhone 4」向けのフレームケース「alex」を作り、メード・イン・浜松、

の技術力や品質のアピールに努めている。同社は、1946年に創業。ホンダやヤマハ発動機の二輪部品はじめボーイングの航空機用部品などを手掛けてきた。長引く円高で輸送機器の部品メーカーが苦戦する中、ものづくりの技術を

#### 精密加工技術アピール

他の分野で生かして需要を開拓しようとして新製品の開発に取り組んだ。素材には軽くて衝撃に強いジュラルミンを使用。金型を使わずに一つずつ精密に削り出し、最薄0.2ミリを実現。総重量は、従来製品よりも3割以上軽い15グラム。赤や青など全6色をそろえた。昨年発売して、これまでに

数百個を販売している。今後、iPhoneの新シリーズに合わせた製品を手掛けていく予定で、曾根大輔専務は「世界に誇れる浜松の技術力をPRしたい」と話している。1個7800円。東京や大阪の大型家電量販店はじめ、インターネットショップでも販売している。



「浜松の技術力をPRしたい」と意欲的なSONECの曾根専務（右）と中井新聞東海本社で